



参議院厚生労働委員長に就任いたしました



第203回国会参議院役員等記念撮影

10月26日に召集された第203回国会において、参議院厚生労働委員長の指名を受けました。

厚生労働委員会は国会に設けられた17の常任委員会のひとつですが、委員長は国会の付託を受けて委員会を開催し、厚生労働省所管の保健・医療・福祉・介護・年金・保険・等々の国民生活に最も身近な社会保障や雇用、労働環境などの労働分野の各種所管事項を審査し、またそれらに関する調査などを行うとともに、法案審査の経緯と結果を本会議に報告します。

国会では、本会議での審査に代えてその過程を常任委員会に付託します。常任委員会では、それぞれの専門的見地から法案審査を実施し、その過程を本会議での審査に代えるという手法により、国会審議における専門化、効率化、合理化、迅速化などを担保しています。

常任委員長は、国会の役員(国会法第16条)であり、委員会の議事を整理(議事整理権)し、秩序を保持(秩序保持権)し、委員会を代表(委員会代表権)するなどの権限を有しています。また、理事会や理事懇談会を開いて委員会の運営について協議します。

参議院は熟議の参議院と言われていいますが、国民の幸福のために参議院らしい議論が尽くされるよう微力を傾けたいと思います。



自民党本部総裁室にて菅総理と

●第201回通常国会での登壇・質疑



参議院本会議代表質問

●参議院本会議での代表質問 (5/15)

「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律案」について与党を代表して質問しました。質問の冒頭では、前日の緊急事態宣言見直しに関する政府の発表を受け、新型コロナウイルス感染症対策について総理の姿勢と決意を質しました。

●参議院厚生労働委員会での質疑

参議院厚生労働委員会では、3回にわたり質疑に立ちました。

- ①「労働基準法の一部を改正する法律案」の質疑 (3/24)
- ② 新型コロナウイルス感染症関連質疑 (4/16)
- ③「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律案」に関する参考人質疑 (5/26)

「労働基準法の一部を改正する法律案」の質疑では、ハローワークにおけるリハ専門職の活用について求め、これを受け、ハローワークにおける「精神障害者雇用トータルサポーター」及び「発達障害者雇用トータルサポーター」の任用要件に理学療法士が追加されるという成果を得ることができました。さらに、ハローワークにおける「障害者職業紹介業務取扱要領」が改訂され、「就職支援ナビゲーター(障害者支援分)」及び「就職支援コーディネーター(障害者支援分)」の任用要件に理学療法士及び作業療法士が新たに明記されました。

●自民党新型コロナウイルス感染症対策医療系議員団本部

4月16日に設置された同本部（富岡勉本部長）では、地域医療体制支援、医療不足資材対策、情報収集・学術、リスクコミュニケーション、戦略・政策提言など、すでに30回に及ぶ活動を重ねています。



【神奈川県知事との面談】
同県における新型コロナウイルス対策、いわゆる「神奈川モデル」についてお話を伺いました



【羽田空港 視察】
新型コロナウイルスに関する入国者への検疫業務を視察しました

●自民党新型コロナウイルス関連肺炎対策本部

同対策本部会議においてリハビリ専門職の感染リスクや臨床実習の現状等について説明し、更なる国の措置・支援を求めました。同本部のもと設置された「感染症対策ガバナンス小委員会」（武見敬三委員長）では幹事に就任し、内閣官房の司令塔機能、有事における指揮命令系統のあり方、有事に柔軟かつ迅速に対応し得る医療提供体制等をテーマに議論を重ねています。

●神奈川県理学療法士会 定時総会 (Web 開催) に出席

6月21日、Web開催での神奈川県理学療法士会の定時総会に出席させていただきました。感染リスクを下げるためにも大変良い取り組みだと感じました。

●全国都道府県理学療法士会からのヒアリング



8月より、全国の都道府県理学療法士会からオンラインを活用してヒアリングを重ね、新型コロナウイルスによる現場の状況や要望等をお聞きました。皆さまからのご意見をしっかりと国政へ反映して参ります。

●フレイル予防等

厚生労働省HPの新型コロナウイルス感染症に関する高齢者向け情報ページに、東京都理学療法士会作成の「フレイル予防を目的とした自宅でする運動」動画、新潟県理学療法士協会作成の体操リーフレット、兵庫県洲本市の体操動画（理学療法士が中心となって作成）、日本理学療法士協会リクラブ等が掲載されています。また、石川県理学療法士会が作成した地域の「通いの場」を再開する際に参考となる運営ガイドが、同会ホームページに掲載されています。他にも、全国の県士会が様々な取り組みをされています。外出自粛で高齢者のフレイル化が懸念される昨今、これこそまさに私たち理学療法士の専門性を活かした公益活動と言えます。



厚労省 HP 石川県市会 HP

●データヘルス推進特命委員会「データに基づく科学的介護・栄養等WG」

WGの主査として、オンライン勉強会の開催や、委員会提言の担当部分の取りまとめ等を行いました。委員会内の4つのWGで取りまとめた提言書を加藤勝信厚労大臣(当時)に手交し、大臣からは有意義な取り組みとして今後も力強く推進していく必要があるとのお話をいただきました。

私の狙いは栄養もそうですが、基本的に「ひと対ひと」対応であるリハビリや介護の介入の質をどう標準化するかにありました。介入の項目を挙げただけで、その質を問わなければ結果にバラツキが出ます。技能と言われる暗黙知をいかに明示化できるかが「科学的介護・栄養」の実現のカギであると考えています。



●シーティングで自立支援と介護軽減を実現する議員連盟

“介護におけるシーティングについて”をテーマに意見交換をしました。シーティングは診療報酬の対象となりましたが、より必要度の高い介護現場での評価の対象とはなっていません。これを解決するには「シーティング」と「身体拘束」との違いを誰にでもわかりやすく周知することが重要です。



●超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟



循環器病対策推進基本計画案に「急性期から回復期及び維持期・生活期までの状態に応じたリハビリテーションの提供等の取組を進める」と記載があり、「多職種が連携する体制について検討する」としています。急性期から生活期まで一貫した介入は、リハビリテーションのそもそものモデルです。リハビリ専門職が適切に介入していくためにも、人材の育成についてしっかり態勢を整えていただきたいと思います。

参議院議員 小川克巳事務所 (自由民主党 参議院比例区)

【国会事務所】 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館405号室

〒100-8962 TEL:03-6550-0405 FAX:03-6551-0405

ホームページ <http://ogawa-katsumi.com/> Facebook <http://www.facebook.com/ogawakatsu3/>

皆さまの声をお聞かせください！ ホームページで随時ご意見を募集しています

シェア・いいねをお願いします！



Facebook



ホームページ

【討議資料】